

# MISSION ROAD MAP 2019

NEWS Vol.2

## 議会ミッションロードマップ2019工程表

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
政策立案	公文書管理のあり方		歯と口腔の健康づくり	
	若者の議会への関心と投票率向上の仕組みづくり			
議会改革	広報のあり方検証	議員提案条例や議会からの提言内容の検証手法構築	議会活動評価制度の見直し	議会活動の評価
	政策形成過程における市民意見の反映			
	委員会インターネット中継導入、聴覚障害者用モニターの設置			

現在推進中の5テーマのうち、今回のニュースでは公文書管理のあり方と政策形成過程における市民意見の反映を取り上げます。公文書管理のあり方は会派の代表で構成する政策検討会議で議論するものですが、議会と

して共通理解を図るため、研修には全議員が参加しました。また、市政課題広聴会の設置は、議長マニフェストの取り組みでもあります。今後も議会全体として、ミッションロードマップ2019に取り組みたいと思います。

大津市議会では「ミッションロードマップ2019」として、4年間の議員任期で、議会をあげて取り組む政策立案、議会改革に関する9テーマを公表し、計画的に推進しています。

## 政策形成過程における市民意見の反映

### 市政課題広聴会を設置しました

「市政課題広聴会」とは、市民生活に直結する重要な行政課題に関して、「賛成」「反対」双方の立場の市民などから議場などで意見を聴き、議会としての議論に生かすための仕組みです。

地方自治法に規定された「公聴会」も同じ趣旨ですが、議案審査の段階における制度であるため、開催すると議会の日程が大幅に延び、議案審査や執行機関の事務などにも多大な影響が出ることから、全国的にもほとんど活用されていません。

そこで大津市議会独自の仕組みとして「市政課題広聴会」を設置しました。これは議論の過程を公式な議事録で残すために、法定されている協議の場として位置付けることで、議会が必要と判断すれば、議案上程前においても市民意見を聴ける場を設けようとするものです。

重要な課題で「賛成」「反対」どちらの市民意見もあり、議会が必要と判断したときに開催されるんだね!



市民生活に直結する重要な行政課題に対して、市民の声を議会審議に直接取り込み、議会の議論に反映する独自の仕組みを検討することを議長就任時のマニフェストとしました。

今回の市政課題広聴会はまさに「市民の声を反映する議会」のさらなる充実につながる仕組みとなると思います。

議長 近藤 眞弘



## 公文書管理のあり方

### 議員研修会を開催しました

大津市情報公開・個人情報保護審査会委員を12年間務められた龍谷大学法学部の本多滝夫教授を講師に迎え、本市における公文書公開の実例などから、公文書管理の意義や、議員提案による条例制定に対する期待についてお話いただきました。



インターネットでご覧いただけます!

クリック to リンク → HP → インターネット議会中継

→ 録画配信へ → 議員研修会 → 大津市の文書管理・情報公開の課題等について

